

＊この『いしかりカエル便り』では、石狩市が実施している外来種のカエルに対する取り組みや活動、石狩市内の外来種のカエルについて取り上げ、何号かにわたって紹介します。  
＊身近なところに生息する外来種のカエルについて「あれ？このカエルは…？」と提供いただけるような情報を皆さんにお届けできましたら幸いです。

## 石狩市内にいる外来種のカエル アズマヒキガエル



### 石狩市内のアズマヒキガエルはどこから来たの？

- 石狩川上流から流されてきた可能性があります。
- 人に持ち込まれた(捨てられた)可能性があります。
- 北海道では、石狩川流域周辺と道南の一部で確認されています。

### いつから石狩市内にいるの？

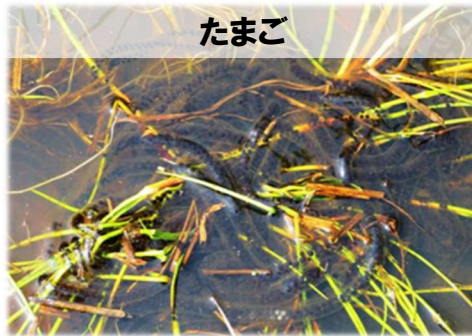
- 2005年に、石狩川河口域で初めて確認されました。
- 2011年に、親船名無沼でオタマジャクシが確認されました。
- 親船名無沼では、毎年、大規模な繁殖行動がみられます。



アズマヒキガエルのオスとメス



たまご



親船名無沼に集まるアズマヒキガエル



### アズマヒキガエルがいると、何が心配なの？

- ＊ カエルは、生きている生き物しか食べません。アズマヒキガエルは、**たくさんの地表性の昆虫類を食べるので、もともといる生き物たちのバランスをくずしてしまうおそれがあります。**
- ＊ 石狩浜に生息する絶滅危惧種のイソコモリグモなど、希少な昆虫類も食べられてしまう可能性があります。

ウラ面もあります！



### ～石狩市にもともといるカエルは 2 種類だけ～

石狩市にもともといる在来種のカエルは、エゾアカガエルとニホンアマガエルの2種類だけです。アズマヒキガエルのほかにも2種類の外来種のカエル(トノサマガエル・ツチガエル)が市内に生息しています。



エゾアカガエル

ニホンアマガエル



# 親船名無沼で、捕獲手法を検討しています

アズマヒキガエルの一大繁殖地となっている親船名無沼では、2017年からアズマヒキガエルの捕獲方法や防除手法について検討を行っています。ここでは、これまでの成果を紹介します。

## ～防除柵と落とし穴による捕獲～

酪農学園大学と北海道外来カエル対策ネットワークの協力のもと、繁殖期のアズマヒキガエルの効果的な捕獲手法として、**防除柵で池を囲み落とし穴でアズマヒキガエルを捕獲**する方法を2017年～2018年に試行しました。



### 【2017年の実施の様子と概要】

- ・期間:2017年4月16日～6月5日
- ・規模:柵約50m・落とし穴19個
- ・捕獲数:1,128匹



### 【2018年の実施の様子と概要】

- ・期間:2018年4月19日～5月22日
- ・規模:柵約300m・落とし穴14個
- ・捕獲数:2,271匹



## ～カゴ罠による捕獲～

アズマヒキガエルは、産卵時に水辺に集まります。その生態を利用して、**沼に魚用のカゴ罠を設置しアズマヒキガエルの捕獲**を試みました。(特別な許可を得ています)

昨年(2020年)は、4月22日～6月1日の間、カゴ罠27基を設置しほぼ毎日見回りを行いました。その結果、1,940匹のアズマヒキガエルが捕獲されました。



今年(2021年)は、さらにカゴ罠の数を増やして捕獲を行っています。

**捕獲を続けることで、アズマヒキガエルの個体数のコントロールを行っています。**

